



新しい学年が始まり、2週間が経ちました。年度はじめの健康診断にご協力いただき、ありがとうございます。

新しい環境、生活リズムで疲れも出てくる時期に入ってきますので、ご家庭と学校とで連携しながら健康観察をしていきたいと思っております。今後ともご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

本校での感染症対策についてお知らせ・お願い

感染症基本行動4か条

- ① 3つの「密」を徹底的に回避するための換気の徹底と距離の確保
- ② 正しいタイミングと正しい方法での手洗いを徹底
- ③ 消毒の徹底
- ④ 健康観察の徹底



① ご家庭での登校前の健康チェック

登校前に健康観察表に検温結果や症状の有無の記入をお願いします。いつもより元気がないな…と感じられるときは、無理に登校はせず、ご家庭で休養をお願いします。

② 清潔なハンカチ・ティッシュの用意

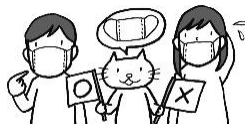
毎日、洗ったハンカチをご用意ください。使用済みのティッシュは、教室で使用した際、専用のふた付きゴミ箱にて廃棄しています。



③ マスクの着用について

マスクの着用は、基本は求めておりません。ただし、登下校時の混雑した電車やバスを利用する場合や医療機関に行かれる際は、マスクの着用が推奨されております。また、感染不安を抱き、マスクの着用を希望する場合は引き続き着用していただいで構いません。

給食の配膳時等は、マスク着用が必要となりますので、鼻マスクにならないよう気を付けながら、対応していきます。



④ 給食後の歯みがきについて

各家庭から歯ブラシ・コップを持参していただいでおり、原則、児童・生徒自身での歯みがきを行っております。

ブラッシングは距離に留意しながら実施しています。ご理解の程よろしく申し上げます。

教員による介助は、再開しておりませんので、引き続き、ご家庭でのブラッシングがむし歯予防の鍵となります。手順表や動画など、Teamsに挙げていますので、ご家庭でもぜひご活用ください。



手洗いはタイミングも大切です!

～石けんでしっかり洗いましょう～

外から帰ってきたとき



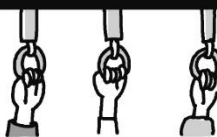
咳やくしゃみをしたり
鼻をかんだとき



調理や食事の前後



外にあるものやみんなが
使うものにさわったとき



トイレの後



掃除やゴミ捨ての後



手洗い手順表(2パターン)
を Teams に挙げております。
こちらもぜひご活用ください。

3月末に対面で学校保健委員会を実施しました。PTAの方々にも参加いただき、学校保健について1年間振り返ることができ、貴重な時間となりました。学校医の先生方から講評をいただきましたので、一部ですが、保護者のみなさまへ情報提供させていただきます。

内科 浅川先生

花粉症のシーズンピークがきています。市販の薬でも調子が整いにくいです。花粉症で困っていたら、早めの受診をお勧めします。



歯科 米田先生

むし歯については、例年と大きく変動はみられていません。本校は、むし歯は少ないと報告を受けています。

ただ、歯石があるケースが見受けられており、毎日のブラッシング・フロスや歯間ブラシを活用して、磨き残しをしないように気を付けていきましょう。歯石は、ついでしまうと歯周病菌が大きな健康被害を及ぼすため、歯科医で除去してもらう必要があります。



眼科 野口先生

他人との接触が減っていることで感染性の眼科疾患は少ないようです。特別支援学校の傾向として、斜視や眼振が多くみられているようです。

薬剤師 内坪先生

花粉症やかぜ薬など、基礎疾患がある方は、できるだけ病院に診てもらい、薬を処方してもらった方が良いです。薬の成分の中には、基礎疾患において、余計なものや悪い影響を与える成分が含まれていたりすることがあります。本人に合った薬を処方してもらうことを、お勧めします。



耳鼻科 宮本先生

新型コロナウイルス感染症においては、感染経路不明の割合が増えています。特に高校生は生活圏が広がるため可能な範囲で感染症対策について意識する必要があります。

アレルギー性鼻炎の有病率は、年々増加が見られており、特にスギ花粉症が多いです。また、低年齢化も明らかになっており、重症度に応じた薬物療法が主で抗原回避も必要です。

鼻血の原因として、慢性副鼻腔炎やアレルギー性鼻炎など炎症による鼻粘膜の損傷に加え、くしゃみ、鼻すすりによる刺激で出血してしまうことが多いです。

